

## 令和5年度保護林モニタリング簡易調査について

## 簡易調査について

保護林モニタリング調査は保護林の状況に応じ定められた基準（通常5年）に照らして行っているが、予算縮小に伴い、令和5年度保護林モニタリング調査実施箇所の一部を職員実行による簡易調査で代替することとなった。

## 対象保護林

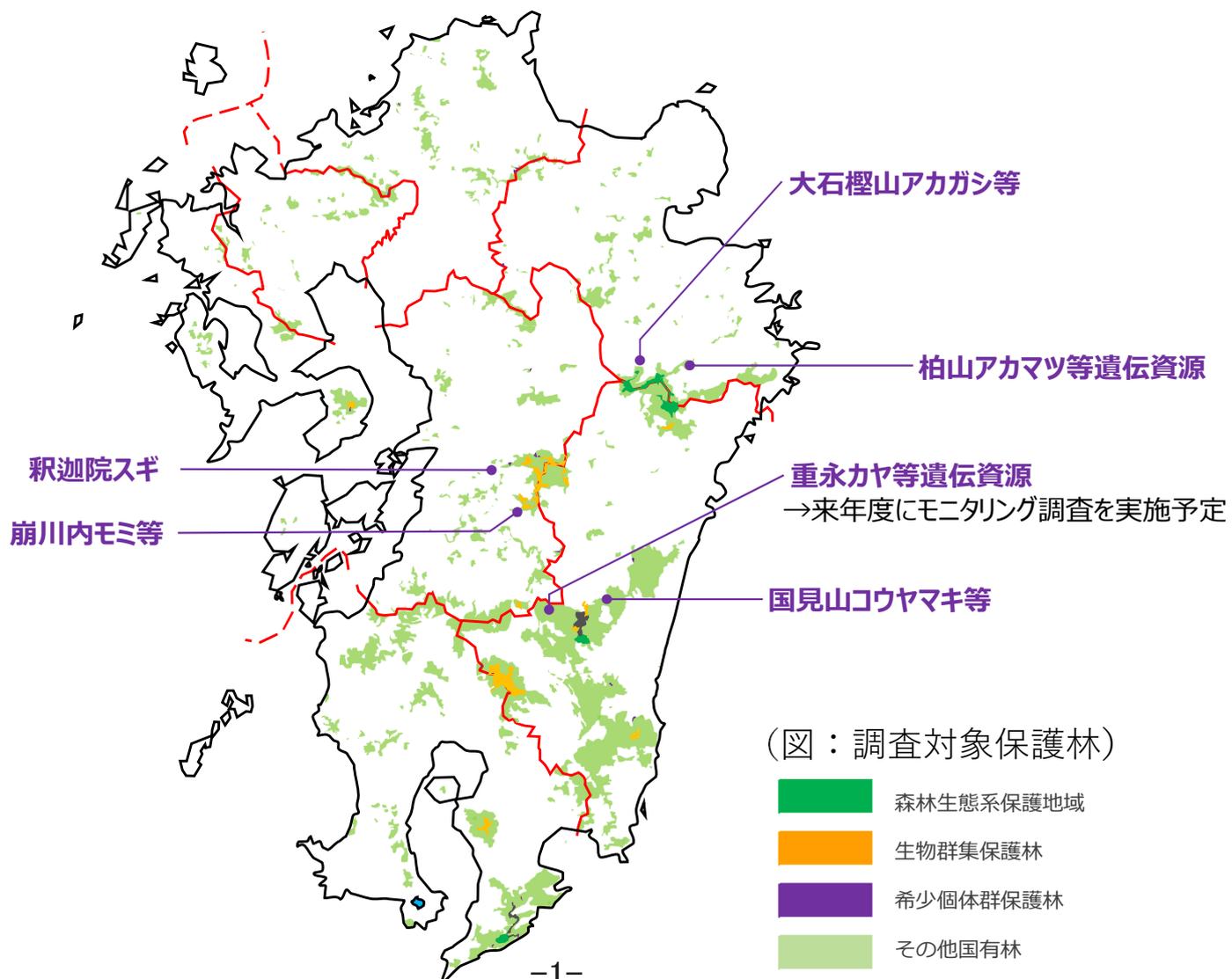
希少個体群保護林の内、重点対策17保護林に含まれない6保護林を選定。  
 ※重永カヤ希少個体群保護林については、未実施のため来年度に実施予定。  
 （下図参照）

## 調査方法

保護林モニタリング簡易調査チェックシート（病虫害、鳥獣害、気象害、シカ被害レベル等）への記入、写真（プロット直上東西南北、その他シカ被害等）撮影、GNSSデータの記録

## 今後の対応

令和6年度以降（可能な限り早く）に保護林モニタリング調査を実施する。



令和5年度 保護林モニタリング簡易調査結果（一覧）

署名	保護林名	モニタリング 間隔	前回調査 実施年度	簡易 調査日	プロット No.	プロット					ルート上の状況	
						シカ被害レベル (前回調査時)	シカ被害レベル (簡易調査時)	病虫害	気象害	シカ被害		備考
熊本南部署	しゃかいん ①釈迦院スギ	5年	H30 (2018)	7月27日	1	3	3	なし	なし	食痕	・下層植生はマツカゼソウとシダ類のみ ・低木層にササが存在、低い位置のササは食害により見られない	・イノシシのヌタ打ち痕あり
					2	3	3	なし	なし	剥皮、食痕	・下層植生は全滅 ・倒木（枯死の原因は不明）を2本確認	・シカの糞、食害あり ・イノシシの掘り返し痕あり
	くづこうち ②崩川内モミ等	5年	H30 (2018)	9月13日	43601	4	3	なし	なし	ディアライン	・下層植生はミヤマシキミを除いて全滅。ハエが多い。 ・高木にはブナ、シロモジ、リョウブ、ヒメシャラ、カエデ類等 ・ブナの実は多く落下しているもののブナ実生は全く見られない	・シカの足跡、剥皮あり ・下層植生は残っていない
					43602	4	3	なし	風害	剥皮、食痕、足跡	・シキミの食害あり。シカの足跡多数。 ・下層植生はミヤマシキミ、シダ2種の計3種 ・ほとんどの木の先端折れ	
					43603	4	4	なし	風害	剥皮、足跡	・モミの木3本 先端折れあり。 ・南西方向に風害による根元からの倒木あり ・No.817,818,819立ち枯れ	・シカの鳴き声が聞こえる。
43604	4	3	なし	なし	足跡、ディアライン	・低木層にバイケイソウを確認。ハエが多い。 ・高木層にはブナ、サワフタギ、シロモジ、ホオノキ、カエデ類等 ・ブナの実は多く落下しているもののブナ実生は全く見られない	・シカの足跡、糞あり、鳴き声もよく聞こえた ・アセビの繁茂が見られた ・リョウブの剥皮がよく見られた					
大分署	かしわやま ③柏山アカマツ等 遺産資源	5年	H30 (2018)	6月15日	31701	3	2	なし	なし	なし	・アカマツの稚樹が見られなかった	
					31702	3	3	なし	なし	剥皮	・斜面上部を含め、アカマツの稚樹が見られなかった	
	おおいしやま ④大石榎山 アカガシ等	5年	H31 (2019)	6月16日	1	3	2	なし	なし	食痕、糞、足跡	・広葉樹の稚樹が点在	・下層植生はほとんどない（萌芽新芽はほとんど食害あり） ・シカ糞多数あり ・古いシカの角とぎ跡あり（最近のものはない）
					2	3	2	なし	なし	糞、足跡	・広葉樹の稚樹が少し見られた	・下層植生は少量あり（萌芽新芽はほとんど食害あり） ・シカ糞あり ・古いシカの角とぎ跡あり（最近のものはない）
					3	3	2	なし	なし	食痕、糞、足跡	・広葉樹の稚樹が少し見られた	・下層植生は少量あり（萌芽新芽はほとんど食害あり） ・シカ糞あり ・古いシカの角とぎ跡あり（最近のものはない）
西都児湯署	くにみやま ⑤国見山 コウヤマキ等	5年	H30 (2018)	9月27日	44501	3	3	なし	なし	剥皮	・コウヤマキ大径木は健全であった	・コウヤマキの稚樹が国見山北側ルート上で確認された
					44502	3	3	なし	なし	剥皮、足跡	・アカガシの枯損が確認された	・ルート上ではシカの痕跡が散見された

※保護林モニタリング実施間隔：保護林モニタリング調査マニュアル10ページを参照

※重永カヤ等遺産資源希少個体群保護林については、来年度に通常のモニタリング調査を実施予定